



日本工学会・ニュース

The Japan Federation of Engineering Societies (JFES) NEWS

社団法人 日本工学会 発行

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
TEL 03-3475-4621 FAX 03-3403-1738

平成11年7月30日 発行

No. 429



会長就任のあいさつ

—専門職機能の充実をめざして—

工学院大学 学長 大橋 秀雄

このたび120年の伝統を誇る日本工学会の会長に選出され、その責任の重さに身の引き締まる思いを噛みしめております。東西冷戦終結後の激動の8年間、折々の問題に適切に対処し、またタイムリーに見識を発信して本会の存在感を高めてこられた石川六郎前会長のご功績に敬意を捧げ、その勢いを更に発展させるべく努力する所存であります。

工学会は、その発足当初は、工学士の親睦団体であり、学术交流の学会であり、また学識者の集まりであるアカデミーの機能も兼ね備えていました。工学士の数が増え、また専門分化が進むにつれて工学会はやがて多数の学会に分裂し、設立後40年余を経た時点で専門学会を会員とする連合体に組織変換を図りました。工学分野全体を対象とする組織としては、科学者の代表の集まりである日本学術会議第5部（工学）、傑出した個人の集まりである日本工学アカデミー、学協会連合としての日本工学会、有資格技術者集団、例えば日本技術士会などがあります。それぞれの組織は、固有の役割を明確に認識して、その責務を果たさなければなりません。

ばなりません。

日本工学会の役割を考える上に、医学系学協会の集まりである日本医学会が良い参考となります。医学系の各学会は、その専門分野、例えば小児科学の科学としての進歩を担うと同時に、小児科専門医の教育・認定・研修に欠かせぬ役割を担っています。前者を学術機能、後者を専門職機能と呼ぶと、近年後者の役割が急激に高まりつつあります。工学系学協会を取り巻く情勢も、医学系と同様に変わりつつあります。

日本工学会は、工学系学協会の学術機能のみならず専門職機能も代表しています。学協会会員の大半が技術者によって占められていることを思うと、本会は250万人技術者のキャリアーを生涯にわたっていかに守り通すかに最大の関心を払わなければなりません。この新しい課題を会員学協会と協力していかに実現するかに、在任中最大の努力を集中したいと思います。皆様方の厚いご支援をお願いして、就任のご挨拶と致します。